

### 平成30年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 9 学校名 千葉県立千葉北高等学校 課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	①本校の教育活動に係る広報を積極的に行い、開かれた学校づくりを推進するとともに、魅力ある高等学校づくりをアピールする。 ②授業公開及び地域行事への参加をとおして、信頼される学校づくりを推進する。	①ホームページの随時更新・一斉送信メールの活用及び学校評価の資料等をおして、本校の魅力ある学校づくりの取組をアピールする。 ②授業公開の実施及び緑が丘中学校区青少年育成委員会等や地域が主催する行事等への参加協力を行う。	①保護者、生徒、及び職員に対するアンケート結果の昨年度との比較並びにホームページの掲載内容と更新状況等。 ②授業評価、近隣住民・小中学校等との連携状況及びその評価コメント。
学習指導	①授業力の向上、個々の状況に応じた指導の充実により、生徒が主体的に取り組む授業を目指す。 ②生徒の学習意欲を引き出す授業を通じ、家庭学習の定着を図り、思考力や判断力、表現力を育成する。	①保護者・地域住民対象の授業公開を多く実施する。授業評価アンケートを行い、授業の改善を図る。また、進学補習を通じ、個々の進路希望に対応できる機会を設ける。 ②授業プリントやICT機器の使用、生徒参加型の授業等により、生徒の意欲の向上を目指す。	①授業公開及び研究授業等の実施回数とその状況。また、生徒による授業評価アンケートの結果。 ②生徒及び職員のアンケートの結果。
生徒指導	①基本的な生活習慣の確立と徹底、及び共通理解のもと全職員で服装指導を行う。 ②教育相談や個人面談等を充実させ、心身の健康育成を図る。また人権尊重の精神を育成する。 ③交通安全指導を強化し、交通事故の防止に努めるとともに、最低限のマナーやモラルを自覚する心を育む。	①全職員による登校指導、始業時の服装チェックを行い、必要に応じて保護者連絡・面談等を行う。また、共通理解を図るための学年合同会議を開催する。 ②各担当者との連携を密にするとともに、教育相談体制を生徒に周知する。道徳教育・人権啓発講話・いじめに関するアンケートを実施する。 ③交通安全講話を実施する。道徳を学ぶ時間やロングホームルーム等を活用する。	①定期的実施する登校指導の実施状況と遅刻者数及び皆勤者数。生徒の状況及びアンケートの結果 ②個人面談の実施状況。生徒アンケートの結果。 ③自転車事故の発生件数及び状況の確認。
キャリア教育	①進路希望実現に向けて校内組織を機能させ、互いに連携し、進路希望達成度の向上に努める。 ②自己の適性・能力の発見に努力し、自らの将来像を意識し、主体的に進路選択できる態度の育成に努める。 ③進路活動全般についてホームページ上で情報発信に努める。	①各学年・分掌が連携して生徒の進路実現を図るとともに、保護者への情報提供を綿密に行う。 ②外部講師を活用した進路学習を1年次から組織的・体系的に実施するとともに、各種ガイダンスや進学補習を積極的に展開する。年間を通じて総合的な学習の授業と連携し、適切な教材を使いキャリア教育を推進する。 ③進路行事の事前事後報告や統計データ及びアンケートの集計結果等を積極的にホームページ上に掲載し、広く周知していく。	①保護者、生徒及び職員アンケート結果並びに生徒の進路決定状況。また、進路通信の配付状況。 ②進路説明会及び各種ガイダンス等の実施回数とその状況。生徒、保護者及び職員アンケートの結果。進学補習の実施状況。 ③ホームページの掲載内容と更新状況等。
特別活動	①ロングホームルームを軸に豊かな心を育み、思いやりのある人間の育成を目指す。 ②生徒会活動をより充実させ、多くの生徒たちがその趣旨を理解し、自主的な姿勢を伸ばすとともに、社会性の育成に努める。 ③学校行事や部活動に積極的に参加することで自己の役割を理解し、また集団行動を通じて人格の望ましい発達を図る。	①ホームルーム活動の内容を工夫し、計画的にその目標達成を目指す。特にクラス全員の生徒が協力し合えるように、生徒同士の関わりを促す。 ②生徒会活動を充実したものにすため、引き続き地域行事や奉仕活動に参加を広く呼びかけ、積極的に関わり、その様子も広く周知していく。 ③本校の特色ある学校行事である北斗祭・合唱祭などの活動や部活動指導等をおして、自己の役割を理解し責任を果たす力、そして思いやりの心を育む。	①ロングホームルームの実施状況及び生徒のアンケートの結果。 ②生徒及び職員のアンケートの結果。 ③保護者、生徒及び職員のアンケートの結果。
特色ある教育活動	①国際理解教育を更に推進する。 ②授業の質の向上及び授業公開の内容の充実を図り、職員の授業改善並びに地域の方々の本校理解の一助とする。	①国際理解セミナーや希望者によるオーストラリアへの短期留学の実施内容を精選し、その指導の充実を図る。 ②授業の質の向上のため、年2回に授業力向上週間を設定する。本校の教育活動を広く知ってもらうため、10月に授業公開週間を実施するとともに、高大連携事業を充実させる。	①保護者、生徒及び職員のアンケートの結果。 ②授業公開の実施状況及び来校者並びに参加者のアンケート結果。